

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金
2020年度 第2回理事会議事録

1. 開催日時 2020年6月23日(火) 11時10分から11時45分
2. 開催場所 WEB会議
福井市文京3丁目9番1号
福井大学文京キャンパス総合研究棟V2階 コミュニティプラザ
3. 出席者 理事総数 11名
出席理事 9名
【WEB会議にて出席】
理事長 細谷龍平
理事 小谷孝一, 黒原繁夫, 大正公丹子, 鞍谷文保, 花島信, 平塚幹夫,
松田透
【コミュニティプラザにて出席】
理事 馬來田善資
監事総数 2名
出席監事 2名
【コミュニティプラザにて出席】
監事 堂裕司, 馬來田善準
陪席者 一葉正樹(福井県総務部大学私学課主事)
4. 議題
 - (1) 審議事項
第1号議案 理事長の選定について
 - (2) その他
グリフィスの訪日150周年事業の現状と展望
5. 定足数の確認
理事総数11名中9名の出席があり、定足数を満たしていることを確認した。
6. 議事概要
 - (1) 審議事項
第1号議案 理事長の選定について
仮議長から、定款第27条第2項により11名の理事の中から理事長を選定したい旨発言があり、審議を行った結果、細谷龍平氏の理事長重任を、全員異議なく承認した。
 - (2) その他
グリフィスの訪日150周年事業の現状と展望
理事長から概略以下の通り述べた。

今年度は当基金の設立40周年である以上にグリフィスの訪日・来福150周年という大きな節目を迎えている。この機にグリフィスの名をさらに高めて地域振興に役立て、併せて基金の再興をはかることを目標にこの2年間、今般重任された理事の方々などのご協力も得てやってきた。昨年は福井大学図書館の主催(当基金が助成)による県内大学生小論文コンクールを初めて行った他、基金の直営事業を可能とするための定款の変更について県の公益認定委員会の承認を得た上で、グリフィスの半生と功績を紹介するテレビ番組の制作を福井放送に委託し、3月29日の放映後、その映像を概要版とともに基金HPで公開した。福井大学とラトガース大学とは来年をラトガースイヤーとして、文

京、松岡両キャンパスで国際交流事業を行う中で本映像も活用する。市立郷土歴史博物館は当基金の助成も得てグリフィス展を実施する。このように多方面で事業を展開することで今年、来年は一定の盛り上がりを作れると考えている。他方、同様以上の盛り上がりは過去にも約50年周期で2度あった。1927年のグリフィスの日本・福井再訪と、1980年前後の地域を挙げた動きである（当基金もその際に設立された）。しかし、その後も日下部・グリフィスの知名度は低下し、人口に膾炙するには至っていない。今回は「3度目の正直」として、特にグリフィスの名がより万人に親しまれるテーマと結びつく形で定着し、福井の地域起こしに真に寄与できるものになりたいとの思いから、たまたまある事実、即ちグリフィスが1871年12月に自分の家（現在のグリフィス記念館）で行ったクリスマス・パーティーがその形のものとしては日本で初めてであったこと（ほぼ検証されている）に着眼した。これをグリフィスの来日・来福150周年記念キャンペーンの一環として150年後にその発祥の地で「福井で見るサンタの夢」と題して再現する。福井大学の授業でも取り上げており、学生の主体的参画も得る。これをその後も年中行事として定着させ新幹線開業を3年後に控えた福井全体の地域振興にも寄与できるものにしていきたい。そのため本事業は当基金に対する各方面からの支援と寄付の増大に繋げられるよう働きかけを行っていく。本年12月には、プレイベントを行う予定。また大学生小論文コンクールは引き続き基金の直営事業として実施する。これからの2年間は、新任の理事の方々も含め新チームとして力を合わせてやっていきたい、どうぞよろしく願いしたい。これに対して、出席理事全員から支持する旨の発言と、種々の有益な助言があり全員意義なく承認した。

以上をもって、議事を終了し、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、出席した理事及び監事は、次のとおり記名押印する。

2020年6月23日

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

議長 代表理事（理事長） 細 谷 龍 平 ⑩

理 事 小 谷 孝 一 ⑩

理 事 黒 原 繁 夫 ⑩

理 事 大 正 公 丹 子 ⑩

理 事 鞍 谷 文 保 ⑩

理 事 花 島 信 ⑩

理 事 平 塚 幹 夫 ⑩

理 事 馬 來 田 善 資 ⑩

理 事 松 田 透 ⑩

監 事 堂 裕 司 ⑩

監 事 馬 來 田 善 準 ⑩